

### (1) 市町村が地域の課題に応じて取り組む森づくり活動

(みどり豊かな森林環境づくり推進事業)

#### 【鮭川村の取組み】

鮭川村では、村内で自然環境保全活動を積極的に行っている団体に対し、継続的な活動の支援を行っています。地域住民有志による「猿鼻街道保存会」が、日本一小さなトンボで知られるハッチョウトンボや絶滅危惧種のトキソウ等の希少動植物の生息環境を守るための下刈り等の保全活動に取り組んでいます。

また、村内外に対し保全活動の積極的な発信を行っており、その一環として、今年度は6月と10月に希少動植物観察トレッキングを開催し、県内約40名の方に参加いただきました。今後も多くの方から猿鼻街道と湿地帯に訪れてもらえるように、継続的な活動と情報発信を行っていきます。ぜひ、散策に訪れてください！



### (2) NPOや地域のボランティア団体等による森づくり活動

(みどり豊かな森林環境づくり推進事業)

#### 【甌山探究会の取組み】

真室川町の甌山探究会は、地域にある「塩根川学校の森」を拠点として、体験型自然環境学習を行っている団体です。今年度は、地域の小学生親子等が参加し、枝打ち体験や、木工作体験として巣箱づくりを行いました。地域の自然とふれあい、さまざまな経験をすることで、自然の大切さ、故郷の素晴らしさを体感し、一人でも多くの子供達が、地域に住みたい、帰りたいと思う大人に、育てられることを期待しております。



#### 【つのかわり山の再生プロジェクトの取組み】

つのかわり山の再生プロジェクトは、戸沢村角川の「広際院」裏山を拠点に、ナラ枯れによって荒廃した里山の再生を目指して、枯れ木の伐倒、生い茂った笹の刈払い作業、酸性化した土壌を中和するための炭撒き、そして敷地内で採取したドングリから育てた苗を植樹する活動をしています。また、観察会を通じて、里山が再生する過程を会員相互で確認し合い、森づくりの意識向上を図っています。



## (1) 市町村が地域の課題に応じて取り組む森づくり活動 (みどり豊かな森林環境づくり推進事業)

### 【白鷹町の取組み】

白鷹町では、今年度より「林政係」が新設され、民有林の整備促進や林業木材産業の活性化、緑化関連活動と森林教育について総合的に取り組む木育活動の推進に力を入れて取り組んでいます。

近年、ニーズの高まりをみせる木育活動では、延べ100名以上の小学生が学校周辺の樹木や草本について学び、森林図鑑や探検マップを作成したり、町産木材の温もりを感じながら木製イス作りに挑戦するなどの体験学習を行いました。児童達は慣れない作業に苦戦しながらも、森林に“触れ”、木材から“創る”ことを楽しみ、関心を深めていました。また、森林の多面的機能や白鷹町の里山文化と歴史を盛り込んだフィールドワークで活用できる副読本を作成し、より多くの人々の、森林や自然を“知る”機会の創出を目指しています。

今後も、白鷹町の森林への関心を高める取組みが期待されます。



## (2) NPOや地域のボランティア団体等による森づくり活動 (みどり豊かな森林環境づくり推進事業)

### 【早坂山あるき隊の取組み】

同隊は、米沢駅の南東部に近い万世町の早坂山を拠点に、森林環境学習に取り組んでいます。

今年度は、散策路の倒木を利用して展望所等に丸太ベンチを設置したほか、支障木を利用して散策路肩の補強を図るなど、森林資源を有効に活用しながら散策路を整備し、自然観察会の参加者等に森の活用方法について説明を行いました。

今後も山歩きを通じて自然のすばらしさや森林資源の活用について学ぶ活動を実施していきたいと思えます。



### 【南陽市小滝区の取組み】

同区は、白鷹山の登山道・遊歩道を活用した自然観察会を実施するとともに、登山道・遊歩道周辺の支障木除去や草刈り作業を行っています。

毎年、白鷹山の夏山開きには、南陽市・白鷹町・山辺町の小学生が登山体験を通して山頂で交流を図り、白鷹山の自然と触れ合い、地域の伝統や文化を知ってもらう学習会を開催しています。

また、今年度は、南陽市吉野緑の少年団と協働して、遊歩道沿いに樹名板を設置し、森林学習の場としての充実を図りました。

今後も登山者に白鷹山の自然のすばらしさに関心を深めてもらえるよう活動を実施していきます。



### (1) 市町村が地域の課題に応じて取り組む森づくり活動

(みどり豊かな森林環境づくり推進事業)

#### 【遊佐町の取組み】

遊佐町では、町の海岸線を南北 10kmに渡って広がるクロマツ海岸林、西山地区の砂防林を保全するため、地元のボランティア団体と協力し、クロマツの植林事業、松くい虫予防対策の樹幹注入、枝打ち等の森林整備ボランティアを実施しております。

例年、保安林内の松くい虫被害による伐採跡地等に植林を実施してきましたが、今年度については、令和元年度に引き続き、日本海東北沿岸自動車道内に設置されているボックスカルバート上で植林事業を実施しました。保安林内を南北に走る位置に設置されたボックスカルバート上への植林は将来的に、周囲の保安林と一体となって、地元住民を飛砂、強風から守ってくれる大切な存在になってくれるものと期待しております。

なお、遊佐町では地元の小学生が参加する体験学習として各事業を実施しており、今の保全活動がクロマツ林の存続のみならず、後継者の育成といった未来を創る活動であるとの認識を次世代にも繋げていきます。



### (2) NPOや地域のボランティア団体等による森づくり活動

(みどり豊かな森林環境づくり推進事業)

#### 【荒倉散策道愛護会の取組み】

荒倉散策道愛護会は、鶴岡市立上郷小学校の6年生による植樹・森の散策・講師による自然環境学習等を実施し、地域住民の協力を得ながら森林環境整備に対する理解を深める体制づくりをしています。毎年学校と実施している桜の木の植樹は今年度で7年目となりました。

荒倉山散策道は、平成4年に作られ、地域住民の有志の皆さんで環境整備を進めてきました。これからも環境整備をしながら皆様に安全で楽しんで頂ける森林環境づくりに取り組んでまいります。



#### 【庄内町清川地区振興協議会の取組み】

清川地区には、地区を風水害から守るため植林された杉林「御殿林」があります。戊辰戦争の戦場となり所縁深く、地区住民にとって身近な杉林です。

清川地区振興協議会では、地区内外の子どもから大人まで広く参加者を募集して、散策路へのチップ材敷や、ヤマユリの植栽・環境整備などを行っています。

多くの方々から御殿林に親しんでいただくとともに、地区の大切な自然資源を後世にしっかりと受け継いでいきたいと思っております。



# やまがた緑環境税PR活動の取組み

県では、県民の皆様へ「やまがた緑環境税」の趣旨や税収の使途など、制度全体の仕組みのほか、やまがた緑環境税活用事業実績の周知を図るとともに、森づくりの大切さについて理解を深めていただくため、各種イベントや普及啓発活動を行っています。

## ● 森林所有者を対象とした 説明会の開催

県内各地の森林組合等では、毎年森林所有者向けにやまがた緑環境税活用事業の説明会を開催しています。

## ● やまがた緑環境税普及啓発広報誌 森と人をつなぐ「もりしあ」の発行 情報誌

【年2回、各20,000部】

やまがた緑環境税の認知度向上を図るため、事業の取組状況や森と人との関わりを親しみやすい内容で紹介しました。

より多くの県民の皆様にお読みいただくため、県内各地の公共施設や金融機関、ショッピングセンターなどに配布しました。



## ● PRパネルの巡回展示

【21箇所(R3.4~R4.2)】

県内各地の公共施設や大型ショッピングモールなどでパネル展を開催しました。パネルの展示にあわせて、木工クラフトなどの体験を行うなど、家族連れにも周知を図りました。



## ● 新聞・フリーペーパー・ラジオ・ インターネットバナー広告を活用した普及啓発

【新聞広告：年1回 ラジオCMなど】

やまがた緑環境税の認知度 50% (R2：33.5%) を達成するため、新聞広告やフリーペーパー、ラジオCM、インターネットバナー広告を活用した普及啓発を行いました。



★ 今後もより分かりやすく、より身近に感じてもらえるような  
PR活動に取り組んでいきます ★